

# 青年「食事抜き」「解雇」

## 民青 1万人の生活実態調査

日本民主青年同盟は5日、東京都内で会見し、コロナ禍で行った約1万人の青年生活実態調査を発表しました。卒業や雇用の危機に直面しており、文科省と厚労省に対して緊急要請を行いました。

### 政府は具体的手だてを

調査は32都道府県、103カ所で行った食料支援(延べ206回)や学校、職場などで集めたもので、「バイトができなくな

り、親からの仕送りのない中で2020年食事抜きも普通(北海道)など食費を削って生活している学生の実態が相次ぎました。「授業料減免申請が不可

になり、下手すれば大学を中退しなければならぬ」「(長崎)など、退学を検討している学生も。高校生も「授業のスピードがすごく速い。課題が多く睡眠時間がない」(京都)と訴えています。

青年労働者からは、「コロナで仕事が減り歩合制のため収入が大きく減った」(新潟県・トラック運転者)「利用者がコロナで利

用を控え、報酬も職員の求

「ナスも減った」(京都府 福祉関係)など切実な声が上がっています。

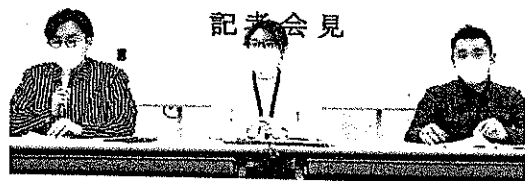
は自助・共助を強調していますが、青年の困難は社

会、政治の問題であり、自己責任ではすまされません。政府が具体的な手だてを取るよう求めていきたい」と語りました。

文科省と厚労省への要請では、学費半減や雇用調整助成金の継続などを求めました。

### 食料支援、青年実態調査

#### 記者会見



コロナ禍で困窮している青年の実態を報告する小山慶委員長(左端)=5日、東京都内

#### 「新型コロナ生活実態調査」によせられた声

- ・「残業代で食べてる給料なのでつらい。ボーナスはもっと下がる」(京都)
- ・「会社が給与が払えなくなり退職。就職活動中だが募集が少ない」(大阪)
- ・「進学したかったが、コロナで諦めた。就職先も見つからない」(鳥取)
- ・「授業時間不足で受験までに終わるのか不安」(和歌山・高校生)
- ・「バイトを5月に解雇され、親の学費援助も難しい」(長野)
- ・「試用期間終了時に退職勧奨を受け自主退職。実家で暮らしている」(埼玉)